

令和3年 第1回定例教育委員会会議録

- 1 招集年月日 令和3年1月27日(水) 14時30分～
- 2 招集場所 佐々町役場 別館2階会議室
- 3 出席委員 黒川教育長、舩委員、山之内委員、寺崎委員、石橋委員
- 4 事務局出席者 水本次長、貞松指導主事、落合次長補佐、鮎川係長
- 5 会議録署名委員の指名 山之内 英樹 委員
- 6 前回の会議録の承認 令和2年 第12回定例教育委員会(12/23)
- 7 教育長報告
- 8 案 件 議案第1号 令和2年度卒業式・令和3年度入学式の出席者、挨拶(告辞)者について
- 9 報告事項
  - (1) 新型コロナウイルスへの対応について
  - (2) 人事異動について
  - (3) 総合教育会議について
  - (4) 今後の学級編制について
  - (5) GIGAスクール構想の進捗状況について
  - (6) 令和元年度自己点検・評価について
  - (7) 名義後援について
  - (8) 準要保護の1月認定について
  - (9) 行事関係報告について
  - (10) その他
- 10 その他
  - (1) 次回開催日程 令和3年2月24日(水) 14時30分～
  - (2) 場 所 佐々町役場 別館2階会議室
  - (3) そ の 他

〈審議の経過（要約）〉

教育長	ただ今から、令和3年第1回定例教育委員会を開催します。
教育長	<b>5 会議録署名委員の指名</b> 本日の会議録署名委員を指名します。山之内 英樹委員にお願いします。
教育長	<b>6 前回の会議録の承認</b> 前回の「令和2年第12回定例教育委員会会議録」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料により説明)
教育長	今、説明がありましたが、質問や、お尋ね等ございますでしょうか。  (「なし」の声あり。)
教育長	ないようでしたら承認することといたします。
教育長	<b>7 教育長報告事項</b> 次に教育長報告に入ります。
教育長	(1)教育委員会の主な行動 (資料により説明)
教育長	(2)町内校長会指導事項等 <b>【指導事項】</b> ○新型コロナウイルス感染症対応 新型コロナウイルス感染症対策ということで、感染者が出る覚悟で最善の対応を考えておいてほしいという話をしました。 ○いじめ対応 加古川市のいじめ対応について、これは新聞の切り抜きでございますけれど、4日間ぐらい連続して記事が載せられていました。アンケート調査をやって、そのアンケートの中にいじめに関する重要な記載があったのに、それを紛失したとあって、実際はシュレッターにかけていた、隠ぺいではないかという事案です。いつも校長会で言っていますが、隠ぺいは絶対駄目だということです。隠ぺいとかうそをついたら後の処理が大変になってしまうということです。出たときは膿を出し切るつもりで取り組んでほしい、元を絶つつもりでやってほしいという話をしました。当然、人権であるとか保護者の理解という壁があるだろうけれど、そういうつもりで取り組んでほしいという話をしました。

教育長

○教員のわいせつ行為

「わいせつ行為273人」という記事が載っていましたし、「教員わいせつ対策法改正断念」、この断念というのは、二度と教職免許を取らせない、失効したら再取得は不可能にするということが個人の権利の制限ということで、これを断念することです。ただ、「失効情報閲覧システム」については、県の教育委員会が全国の教員経験者について、履歴を検索できる期間を40年に延長するという事になったということです。その閲覧が可能であれば、実際、そういう履歴があるという方が、教職に就けるということはないだろうと思っています。

当然、子どもが被害者となるわいせつ行為は懲戒免職ですし、あってはならないことです。ただ、私の経験から言うと、わいせつ行為というと男性が女性に、男性教諭が女性教諭もしくは女子児童生徒にということですが、まれに女性教諭のわいせつ行為もあり得るということも考えておくようにという話をしました。

○35人学級

これは、後ほど指導主事のほうからも話があると思いますけれど、いよいよ「公立小 35人学級に」ということで、来年度から35人学級が始まります。現在、すでに小学校1年生は35人ですが、それが来年度、小学校1年生と2年生、再来年度が小学校1・2・3年生、次の年が1・2・3・4年生、次の年が1・2・3・4・5年生、そして5年目が1・2・3・4・5・6年生と、1学年ずつ上っていくという形で、5年間かけて全ての学年が35人学級ということになります。そのことも勘案して、佐々町の場合は、児童生徒数はそう減っていませんので、教室が足りるのかどうかという課題がございましたが、そのシミュレーションは、後ほど説明があると思います。

○TIMSS

日本は比較的、上位クラスに入っていて、理数嫌いが改善されたということですね、うれしいことだと思っています。

ただ、中学校2年生。火星の表面の地図を作るために特殊な探査機が送られた問題です。火星が地球上の重量と異なる、それはどうしてでしょうというような問いかけが①、②、③、④とあるんです。これは、間違ってもらいと非常に困る問題です。非常に基礎的なことです。中学校2年生に聞かれるような問題ではありません。

当然、重力、引力が変われば重さは変わるわけで、非常に基礎的なことです。校長先生方に言ったのは、全国学力・学習状況の活用問題もそうですけれど、子どもたちは、ひょっとしたらこの絵とといいますか、文章とといいますか、それで難しそうだと思ってしまうのではないかなと。聞いてあることは非常に基礎的なことです。やはり、問題に慣れさせるということが必要だろうと。また、次の10ページに載っていましたけれど、普通にやっているとは思いますが、「体験的学習」、「主体的学び」ということをやってほしいという話をしました。

それから、資料に枠組みをしていますけれど、前回の定例教育委員会の中でご指摘いただいたことですが、校長、教頭に指導しています。入学説明会が始まる頃ですが、いじめ・不登校対応の説明をということで、いじめについては、毎月アンケートを取って、小さなことでも必ず事情を聞いて、保護者に報告しているとか、不登校関係についてはスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー

教育長

一等による相談体制の充実や初期の対応、または家庭訪問等を行っているという、そういった旨を校長説明の中に入れてほしいということをお話しました。

また、学校経営については、授業改善の視点を明確に示すということで、確かに動きがある佐々小学校の「伝え合い」は分かりやすいです。ところが、書く活動を重視した佐々中学校の授業改善とか、口石小学校の内的会話はなかなか見えない。だから、うちの学校はこういうことでやっているんだ、こういう取組みなんだということ、学校訪問の折に説明を明確にしてほしいという話をしました。

さらに、英語教育の充実ということで、先進校の視察等の改善策、これも後で報告があると思いますが、昨日、県教委から指導主事を招いて、口石小学校で小中学校英語教員、ALTを集めての英語の授業研修会を行いました。英語については、もう変わるときだという話も私からしましたし、タブレット導入が、英語力向上にもすごい威力を発揮するのではないだろうかという話をしました。

あわせて、佐々町の子どもが突出して劣っているとは私は思っていないし、もっと点数が取れる、もっと改善できると思っているという話をしました。

#### 【気になっていること】

##### ○全国学力・学習状況調査

GIGAスクール構想の中で、タブレットを導入し、そのソフトとしてミライシードというソフトを導入します。そこで、本町の全国学力・学習状況調査の対応として、小中学校で現在行っている学力調査を、ベネッセの学力調査に変えようと思っています。ベネッセの学力調査は、ミライシードのドリルパークと連動しているということで、自分の弱点を自分で学習できるという利点があるということ等を考えて替えようと思っています。

##### ○小中高生自殺

「小中高生自殺」という記事が載っていましたけれど、やはり小学生もいるということ。子どもの自殺というのは高校生とか、ある程度年齢が高くなってからという事案が多いわけですが、そういう子どもばかりとは言えないということは認識しておく必要があるだろうということです。また、今回、少し多かったのが、新聞記事にも書いてありますけれど、何か、子どもというのは連鎖というんでしょうか。有名人が自殺したという、後追いといいますか、まねをするということがあるようです。そういう事件があったならば、ちょっと注意しておく必要があるし、対応が必要だという話をしました。

##### ○LGBTへの配慮

長崎市が、議会の質問の中で、ブレザータイプの制服を導入している学校については、男女、配慮していこうという動きがあるようです。佐々町の場合は、学生服とセーラー服ですから、非常に難しいところなんですけれど、実際、そういう事案があったら具体的に考えていかなければいけないだろうと思っています。

以上、私からの報告でございます。

何かご質問等ございませんでしょうか。

(「なし」の声あり。)

教育長	<p>それから、いよいよ2月になるところですが、新型コロナウイルス感染症対策ということで、1月の学校行事関連について、持久走大会については1月16日の土曜日に予定されていましたが、中止という決定をしましたのでご報告します。</p>
事務局	<p><u>8 案件</u> 議案第1号 令和2年度卒業式・令和3年度入学式の出席者、挨拶（告辞）者について (資料により説明)</p>
教育長	<p>ただいま案が示されましたがいかがでしょうか。基本的には、どちらかに行くという割当てになっております。 現時点では、事務局案のとおりということで、もし、ご都合が悪ければ入れ替わり等をして対応したいと思います。</p>
教育長	<p><u>9 報告事項</u> (1)新型コロナウイルスへの対応について (資料により説明)</p>
教育委員	<p>小中学校の登下校のときは、マスク着用は指導しているんですか。あまり着用していないと個人的には思っているんですけど。</p>
教育長	<p>厳しくは言っていません。手洗い、マスク、換気の徹底と言っていますけれど、確かに最近着用率は上がっています。屋外ではそこまで強制しなくてもいいということはあるんですが、着用するようにという指導はしているけれど、それを検査してというところまでは言っていません。</p>
教育長等	<p>(2)人事異動について (口頭で説明)</p>
教育長	<p>ただいま報告がございましたが、この件についてはよろしいでしょうか。  (「異議なし」の声あり。)</p>
事務局	<p>また改めて、決定した内容については、昨年同様に皆様方にはお知らせします。</p>
事務局	<p>(3)総合教育会議について (資料により説明)</p>
事務局	<p>(4)今後の学級編制について (資料により説明)</p>

教育委員	よく分からない部分の質問なんですけれど、教室が足りないといったときに教員の数で調整するというのは、どういう意味になるのですか。ちょっと分かりづらくて。
教育長	例えば、2学級になるけれども、教室が足りないから2学級分を1学級にするということです。そのときは2学級分の教員を配置できるということです。
教育委員	分かりました。ありがとうございます。
事務局	(5) G I G Aスクール構想の進捗状況について (資料により説明)
教育委員	ソフトのミライシードを導入すると言われていたんですけれど、もう一度、中身の説明をお願いします。
教育長	資料を見られた方が分かりやすいと思いますので、それを後ほどお渡しします。よろしくをお願いします。
教育委員	主に学力向上に関するものですか。
教育長	当然、学力向上に寄与しますが、授業の中での活用というのが一番最初にあります。対話的・主体的授業を構築するツールとして活用できるソフトになっているということです。ドリルパークとかオクリンクなどに分かれていますので、資料を見ながらお話ししたほうが分かりやすいと思います。
教育委員	令和3年4月からの取組になるのかなと思うんですが、納品がその時期になってしまうということなんですけれど、実際、授業とかで取組もうと思われているような計画、それぞれ学校が違うかもしれないのですが、どのように計画されているのでしょうか。先生方の準備とかもあるでしょうから、どういう形で計画されているのかと思って。
事務局	先日、情報化担当者会議を開きまして、このミライシードの使い方については事前研修を行いました。タブレットを実際に使いながら、先生が生徒役になってICT支援員を講師として、実際に授業の中でやっていく形でやりました。今、40台のタブレットが各学校にありますし、小学校はミライシードが実際に入っていますので、教師用のほうにも、それを使って、今の40台で実際に授業の中で使うような計画もあります。佐々小学校、口石小学校、それぞれの中心になるような先生が、実際、ミライシードを使いながら授業をしています。年度中にできるだけ40台あるタブレットを使って、4月以降に1人1台になる前に、子どもも教師も慣れるように、そして、4月からスムーズに自分のタブレットでできるような準備をこの3学期の間にしてくださいということをお願いしています。

教育長	情報化担当者会で年間指導計画を立てています。プログラミングと情報モラルを中心に立てた年間計画です。そういう計画を進めているところです。
教育委員	今、この段階でどう使うということがあると思うんですけど、使った結果、どんな状況であるとか、どの辺が不得意な分野であるとか、そういうところまで能力の蓄積とかができてくるんですか。
教育長	現在、その検証は不十分なのは事実です。実際、日常的に全員が使っていないから、今は、本当に導入編で使ってみようという段階です。しかし、かなり威力はあると思います。QRコードにかざせば発音が聞けます。家でも練習ができます。ドリルのほうをやれば練習問題ができます。家庭学習で使うならば、私は、ものすごく英語の学力向上の可能性というのは高いだろうと思います。読めないで書けるわけではないと私は思っています。家庭学習のツールとして使うならば、英語ではものすごい威力を発揮するだろうと思っています。
教育委員	例えば、その子がこういうQRコードを読み取って、勉強していますというデータというのは、どこかで担任の先生とかが見れたりするんですか。
教育長	QRコードはどうか分かりません。
教育委員	その子の成績がどうなっているとか、どういうところに興味があるとか、そういうところのデータが、このGIGAスクール構想の一番の基本的なものだと思うんですけど、そこはどうなんですか。
教育長	そこはどうか分かりません。ミライシードの中であれば、ドリルパークのどこをやっているとか、生徒別の履歴は出ますけれど、QRコードを読み取ったまでは、多分出ないのではないかと思います。
教育委員	その子の特性が、履歴によってだんだん見えてくるところが分かればと思うんですけど。
教育長	期待はしています。ドリルパークは、自分でいっぱい問題があるところに入って解いていくわけです。自分で進めていくわけです。そのデータは蓄積されていって保存されていきます。
教育委員	基本、それは担任の先生が見て判断できるような状況になるのですか。
教育長	そうです。判断できるし、もちろん子ども自身も自分の分は見られます。
事務局	ちなみに、毎時間の子どもたちの変容もデータとして残っていきます。家庭学習までできるのかどうかちょっとそこは確認していないですけど、授業中に行っ

事務局	た、リンクで貼った学習したデータは教師用のコンピューターにデータが残っています。ドリルパークも一緒です。だから、データは蓄積されていくし、評価にも使えます。
教育委員	その子の学力だけではなくて、どういうところに興味があるとか。
教育長	そこがやはり大きいところだと思うんです。委員がおっしゃっているのが、学習の個別化とか個性化というか、そこにつながっていく可能性はものすごくあると思います。ただ、これは私の個人的な危惧なんですけれど、タブレット学習に向いている子、向いていない子がいるのではないかと。そこはちょっと気にはなっています。 いろんな課題がこの後また出てくるかもしれません。「しゃべるのは得意なんだけど」というような特性の差が出てくるかもしれない。
教育委員	そうですね。その辺は担任の先生が見ないといけないですね。
教育長	かなりの有力なツールになるとは思いますが、今度は、いろんな課題も逆に出てくるかもしれません。
教育委員	授業自体は、割としやすくなってくるんですよ。
教育長	そう思っています。
教育委員	やはり、授業が上手な先生と上手じゃない先生がいるとか、その差がだんだんなくなってくるというのもあるんですか。
教育長	出てくるかもしれません。
教育委員	親の立場だったら、これは家庭学習のために持って帰るといったこともあるということですよ。
事務局	検討中です。
教育委員	高価なものだから、もし家で破損といった場合は、どのように対応していくのかと。
事務局	今、最後の詰め調整をしていますが、貸出し要綱を整備中です。そういった万一の破損とか、故意に破損した場合とか、破損の仕方もいろいろあると思います。それを具体的に明記して、貸出し要件などを組み入れた貸出し要綱を今、作っています。 それから、保護者向けの説明会資料、具体的にこういったことを学べるんです、学習が違ふんではないかというような具体的な活用方法を記した資料も準備しています。



教育委員	ありがとうございます。
教育長	先進的に使っている自治体など、破損したときの対応というのはどんな状況なんですか。
事務局	県内のある自治体が、先進的に1人1台タブレットを導入しているんですけど、破損も含めて、年間に何件か故障するようです。しかし、基本的には自治体負担で、叩き割ったとかとなれば話は別なんでしょうけども、修理代はほぼかかっていないと聞いています。保険については、調べてみたのですが、要件がよければ、予算化したいと思っています。
事務局	ちなみに、昨年度導入したタブレット40台について、修理や破損したということはあるでしょうか。
教育長	結構丈夫ですよ。衝撃に強いし、当然防水してあるし、その不具合等が起こることはあるかもしれませんが、簡単に壊れるものではないです。
教育委員	今年購入して、2年、3年と使っていくわけですよ。機械ですから、何年か後には新しく替えなければいけないということになるんですよ。それまではずっと使っていくということですか。
事務局	ソフト自体のアップデートは、OSが自動的にアップデートしていくようになっています。今おっしゃられた数年後、古くなれば、それが5年後なのか6年後なのかは分かりませんが、当然、入れ替えることにはなるだろうと思います。今回は、国の補正予算が活用できるから全部購入することになりましたが、次に買い替えるときは、今のところ、国は補助金を出すか分からないので、どのタイミングで買い替えることになるのか、リースになるのかもしれませんが、そこはまだ何年後に買い替えるということは言えないところです。
教育委員	そうですね。
教育委員	端末自体は持ち上がるんですか。
事務局	小学校は小学校内で、中学校は卒業時には3年生から1年生に渡りようになります。
教育委員	6年生まで持ったデータというのは、中学校には持ち上がらないんですね。
事務局	データは基本的にはクラウドで管理するので、そこで保存はされているんですけど、そこもやり方次第なんです。個人が例えば佐々小何とか何番とかというアカウントとか、それで持っているデータを中学校までは持ち上がれないと思

事務局	<p>ます。やはり、今おっしゃられたように学校ごとで分けるものなのか、個人のアカウントでそれを持って上がれるのであれば、中学校に上がっても、その子どもが持っているデータは開けます。</p>
教育長	<p>そこも研究課題として研究していきます。よろしいでしょうか。      いろんな可能性を秘めているし、いろんな混乱もあるかもしれません。</p>
事務局	<p>(6) 令和元年度自己点検・評価について      (資料により説明)</p>
教育長	<p>ただいま事務局のほうから説明がありましたが、内容的なことについては、外部評価委員にご指摘いただいたことを、今後、改善していくことだと思います。</p>
事務局	<p>(7) 名義後援について      申請がなかったため取下げ。</p>
事務局	<p>(8) 準要保護の1月認定について      申請がなかったため取下げ。</p>
事務局	<p>(9) 行事関係報告について      主な教育委員会行事の1月実績および2月予定について報告。</p> <p style="text-align: right;">(16時32分 閉会)</p> <p>上記のとおり会議の次第を記載して、相違ないことを証するためにここに署名する。</p> <p>令和3年1月27日</p> <p>教育長 黒川 雅彦</p> <p>委員 山之内 英樹</p>